

インクルーシブスポーツ体験 企画書

A班

プレイ人数	1 人 ～ 4 人	
1 団体あたりの プレイ時間 (目安)	最大 20 分	
三松祭限定ルール	<p>(1)ボールの投げ方</p> <p>①身長に応じて投げる距離を変更する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルック棒を使用する場合 身長120cm以下 1.5mラインから 120cm以上 3mラインから</li> <li>・ボッチャのボールを使用する場合 身長120cm以下 2mラインから 120cm以上 3.5mラインから</li> </ul> <p>※ボールの方が投げやすいため</p> <p>②投げ方は指定しない。</p>	<p>(2)プレイ方法</p> <p>①1人プレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5投で25点取得したら勝ちとする。</li> <li>・25点を越えた分はその数値分をマイナスする。 (22点で5点取得したら23点となる。)</li> </ul> <p>②2～4人プレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順番に投げ、先に25点に到達した人が勝利。</li> <li>・25点を越えた人は、次ラウンドで15点から再スタートする。</li> </ul> <p>(3)その他</p> <p>そのラウンド中に勝利条件を達成する人が出ても、そのラウンドはプレイを続行する。</p>
参加者への配布資料	・インクルーシブスポーツの説明書 (用紙1枚) ・人権啓発用マンガ ・景品 (啓発物) ↓	
景品	おおたん、ぐんまちゃん、ネオタ、クレインサンダーズ選手のカード (人権メッセージ付き) 消しゴム、風船	
その他、気になること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーシートを敷く。</li> <li>・様々な属性を持つ人が来場される。断るのではなく、臨機応変に判断し、誰もが参加できるように！</li> <li>・雨天の場合は、規模を縮小しテントの中で実施する。</li> <li>・次年度に向けてアンケートはしてもよいかも。</li> </ul>	
ルール手順と注意事項	受付：個人戦かチーム戦かを選択する。	
	ボッチャ用ボールがよいか、モルック棒が良いかを選択する。	
	身長を聞く。120cm以下の人は近い距離からスタートすることを説明する。	
	モルックルール (三末祭特別ルール適用) でゲームをプレイする。	
	啓発物と景品を渡して終了	

人権カードゲーム 企画書

C班

プレイ人数	3 人 ~ 6 人
ラウンド数	全5ラウンド
ルール手順と注意事項	1ラウンド目：①プレイヤーに基本カード（同意カード1枚、否定カード1枚、スルーカード1枚）を配付する。
	②質問カード山札から1枚めくり、その内容をゲームマスターが読み上げる。
	③プレイヤーは、その質問カードの内容を聞いて、正解だと思うものを一斉に出す。
	④ゲームマスターは3人程度に、なぜそのカードを示したか理由を聞く。
	⑤ゲームマスターが正解を示す。正解者は1, 000ポイント得る。場に出した基本カードを手札に戻す。
	2ラウンド目：1ラウンド②～⑤と同じ。
	3ラウンド目：①特殊カード山札から1枚ひく。
	②質問カード山札から1枚めくり、その内容をゲームマスターが読み上げる。
	③プレイヤーは、その質問カードの内容を聞いて、正解だと思うものを一斉に出す。 特殊カードも同時に出すことができる。
	④ゲームマスターは3人程度に、なぜそのカードを示したか理由を聞く。
⑤ゲームマスターが正解を示す。正解者は1, 000ポイント得る。 場に出した基本カードを手札に戻し、特殊カードを破棄する。	
5ラウンド終了後：ポイントが最も高い人が勝利	

<p>議論カードに関する意見と対策</p>	<p>・議論カード 正解がない人権問題に対して議論を促し、多数決でポイントを得る人を決めるのはどうか。⇒小学生に議論は難しいのでは？</p>	<p>⇒議論で正解を決めるものではなく、ある程度答えが決まったもの（いじめの問題など）をカードの題材とする。</p>
<p>特殊カードの名称と効果</p>	<p>Ally（アライ）⇒性的マイノリティの当事者のことを理解し、支援のために行動する人のこと 支援により、このラウンド中に自分がもらえるポイントが2倍になる。</p> <p>ダイバーシティ⇒年齢、性別、国籍、人種、障害の有無、価値観、経験、能力など、さまざまな違いを持った人々が、社会や組織の中で共存している状態や概念、多様性のこと。</p> <p>プレイヤーの出す基本カードが3種類すべて場に出ている場合、ラウンド終了後に持ち点を2倍にする。</p> <p>人権感覚⇒人権が守られている状態を望ましいと肯定的に感じ、人権が侵害されている状態を問題だと捉え、その不合理性に気付いて解決しようとする「価値志向的な感覚」</p>	<p>人権感覚により、場に出した基本カードを変更することができる。</p> <p>バズる／炎上 自分が場に出した基本カードが多数派の場合、追加で2,000点を得る。少数派の場合1000点を失う。</p> <p>カード名未定 特殊カードの上から3枚カードを引き、そのうち1枚を選択する。このラウンドで、そのカードを使用しなければならない。</p>
<p>その他、気になること</p>	<p>・特殊カードは1ターンに何枚まで使用できるか⇒1ターンに1枚まで。また、手札には2枚までしか持てず、2枚ある場合はひくことはできない。</p> <p>・点数は何点刻みが適切か（100点？1000点？）⇒1,000点刻みとする。</p>	